

## 第4学年2組 道徳科学習指導案

令和元年11月15日(金) 第5校時  
在籍 男子13名 女子17名 計30名  
授業者 本田 奏

### 1 主題 友だちへの注意 内容項目【B-9 友情、信頼】

### 2 本時のねらい 友達と互いに信頼し合い、ときには注意し合いながら、友情を深めていこうとする心情を育てる。

教材名 『大きな絵はがき』(出典 新しいどうとく4 東京書籍)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

小学校中学年の目標の一つに「思いやりの心を持ち、友達と互いに信頼し合うこと」がある。中学年になると、気の合う友達同士で仲間を作って遊ぶような集団での活動がこれまでになく盛んになる。しかし、自分の利害に基づく衝突が強くなることも見られる。このような特性から、この時期においては、健康的な仲間集団を積極的に育成していくことが大切であり、友達のことを互いによく理解し、信頼し、助け合うことを中心として指導していく必要がある。

子供たちにとって、友人関係は重要な人間関係の一つである。健全な仲間集団を育成するとともに、真の友情を育むためには、ときには忠告や注意し合えるような信頼関係がなければならない。友達とのよりよい関係の在り方を考えることにより、友情を深めることが出来ると考える。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、友達と仲良く遊んだり、協力したりできる児童が多く、友達と何かに一緒に取り組むときにも優しく声をかけることができる。気の合う友達と仲間を作り始めている様子もあるが、席替え等を行いながら、多くの友達と関わることができている。その反面、仲の良い友達と遊んでいるにもかかわらず、お互いの利害にこだわってしまいトラブルになることも少なくない。そこで、どうすることが相手のためになるのかを考え、互いに高め合っていけるような関係の大切さに気付くようにしたい。

児童へ行った意識調査では、次のような結果であった。(一部抜粋)(欠席2名)

- |                                   |          |          |
|-----------------------------------|----------|----------|
| ①親友と言える友達…                        | いる(28名)  | いない(0名)  |
| ②その友達にはなんでも話せる…                   | はい(22名)  | いいえ(6名)  |
| ③もし親友が間違っていることをしてしまったら、親友に注意できるか。 | できる(22名) | できない(6名) |

#### ④それはなぜですか？

##### 【言える理由】

- ・親友だから。友達がいなくなってしまうから。
- ・大好きな親友だからいい人でいてほしいから。
- ・自分が親友をきらいになりたくないから。
- ・どちらも友達だから、親友だけでなく困っている友達も助けたい。

**【言えない理由】**

- ・けんかになって親友でなくなるのが不安だから。
  - ・親友を傷つけてしまうかもしれないから。
- ⑤これまで親友に間違っていることや直した方がいいことを伝えたことがありますか。

**【ある】**

- ・みんなで使う場所でマナーを守っていなかったから注意して教えてあげた。
- ・友達の悪口を言っているところを止めた。
- ・けじめをつけられなかったときに声をかけた。

**【ない】**

- ・傷つけてしまいそうで怖かったから。
- ・自分に伝えられる自身がなかったから。

アンケート結果をふまえて…

親友と呼べる仲の良い友達をもつ児童が多いが、なんでも話せるか、間違いを伝えられるかという問いについては、友達を大切に思っている行動に出られる児童だけではなく、親友を大切にしたいという理由から、想いはあるものの伝えられずにいると感じる。そこで、本時では、これまで築いてきた関係性を大切にしながらも、間違いを伝えることも友達として大切な気持ち・行動だということを授業を通して深めていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、料金不足の定形外郵便をもらった広子が、送り主である友達の正子に忠告しようかしないでおこうかと迷う話である。正子と友達として過ごした日々を思い出し、きっとわかってくれると考え、教えることを決心した広子の心の葛藤をしっかりと見つけ、本当の友情について考えることができる話である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うこととする。

①転校してしまった仲良しの正子から絵はがきが届く場面

ここでは、仲良しの正子からの絵はがきを喜んでいる広子の気持ちに共感させる。

②母と兄の考えを聞き、部屋に戻り一人で考え込む場面

ここでは、主人公である広子の立場になり、自分が支持する考えとその理由を明確にさせる。

③正子への返事を書き始めた場面

ここでは、信頼し合うことの大切さに気付いた広子の気持ちを捉え、料金不足を知らせる選択をした理由について考えさせる。

また、教材の結末を知らない状態で葛藤場面について考えてほしいため、教材文は結末を見せない状態にして印刷し、児童に配布する。

#### 4 研究主題との関わり

##### 研究主題

自分との関わりを通して価値について主体的に考え、  
多様な感じ方・考え方と出会い交流する道徳

##### 【仮説】

教材文を自分事としてとらえ価値について自分の考えを持ち、友達のことを考えての行動に対して他の考えと比べ合うことができれば、本当の友達・親友についての考えを深められるだろう。

##### 【手立て】

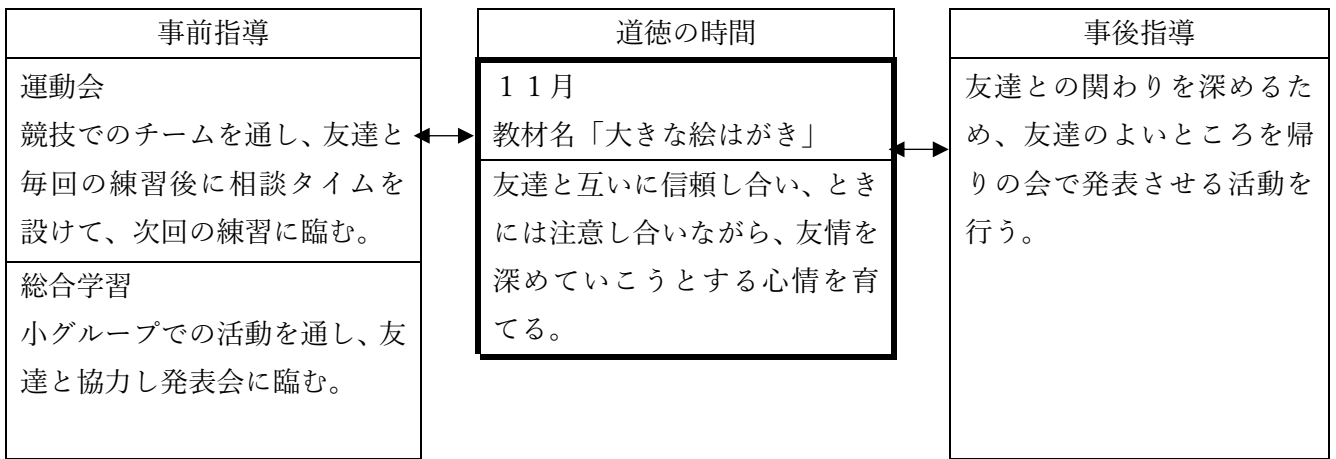
本時では、仲の良い友達に対して自分ならどうするかと自分事として捉えられ、周りの友達と意見を比べ合う手立てとして「心のものさし」を取り入れていく。葛藤場面において、ネームプレートを使い自分の意思表示をさせることで、クラス全体の様子や、誰がどんな思いを持っているかが視覚的に分かりやすいだけでなく、微妙な位置の違いからさまざまな考え・思いを引き出したい。また、展開部分の後半では、はじめに思った位置から変化しネームプレートを動かしたい児童がいれば動かせて、どんな理由から動かしたのかを聞き、より「友達」についての考えを深めたい。

#### 5 学習指導過程

段階	学習活動 ・ 主な発問	予想される児童の発言	・ 指導上の留意点 ☆ 評価の視点
導入	1 友達アンケートの結果を知り、問題意識を持つ。  ○親友なのに話せること、話せないことがあるのはどうしてだろう。	・嫌われたくないから。 ・相手のことを考えて。	・親友がいるという質問には全員がはいと答えているが、本当のことを話せるかという問いについては同じ数ではないところを気付かせる。
	2 教材について知る。  ・主人公…広子 ・友達…正子 大親友だった二人が、正子の引っ越しから離れ離れになってしまった。そんなとき、正子から手紙が届く。	親友ってどんな関係なのだろう。	・登場人物同士の関係性や背景を話す。

<p>展開 前段</p>	<p>3 教材「大きな絵はがき」の読み聞かせを聞き、登場人物の心の変化を中心に話し合う。</p> <p>(1) 転校していった仲良しの正子から絵はがきをもらったとき、広子はどんな気持ちだっただろう。</p> <p>(2) 母と兄の考えを聞き、広子はどんなことを考えただろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正子さんからだ！うれしい。</li> <li>・久しぶりだなあ。</li> <li>・元気にしていたかな。</li> <li>・わたしのこと覚えていてくれて嬉しい。</li> </ul> <p>不足したことを伝える (兄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ間違いをしないように。</li> <li>・親友だからわかってくれる。</li> </ul> <p>お礼だけ (母)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正子さんをいやな気持ちにさせたくない。</li> <li>・今回だけ間違ったかもしれないから。</li> <li>・せっかくくれたものだから。</li> </ul> <p>迷い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたほうがいいけど、嫌われたくないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良しの正子からの絵はがきを喜んでいる広子の気持ちを考えさせる。</li> <li>・母の考えと兄の考えをカードで提示し、考え方の違いが視覚的に分かるようにする。</li> <li>・ネームプレートを利用し、主人公になりきり黒板に考えを示す。</li> <li>・自分が支持する考えとその理由を明確にすることができるようになる。</li> <li>・友達の考えを聞いて、考えを変えたいという思いをもった児童にはネームプレートを移動させる。その際には理由も発表させる。</li> </ul> <p>☆主人公に共感しながら、自分なりの考えをもって話し合っていたか。</p>
<p>後段 終末</p>	<p>(3) 教材の結末を聞き、広子が「きっとわかってくれる。」と返事を書き始めたのはなぜだろう。</p> <p>5 親友ってどんな関係なのだろう。</p> <p>○ワークシートの記入・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正子さんは親友だから。</li> <li>・これからも親友でいたい。</li> <li>・親友だからこそちゃんと教えてあげたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いのことを思い合える関係。</li> <li>・相手のことをよく考えている関係。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金不足を知らせる選択をした理由を考えるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入させ、自分自身を振り返り、ねらいとする道徳的価値について深めさせる。</li> </ul> <p>☆自分のことを振り返り、親友という関係について考えているか。</p>

6 ほかの教育活動との関連



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・登場人物を自分に置き換えながら、それぞれの心情を捉え話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・友達とのかかわり方の大切なことについて、自己を振り返り考えている。

8 板書計画

